

入札監視委員会の審議概要について

平成26年度第1回中国運輸局入札監視委員会が、平成26年10月24日（金）に中国運輸局会議室において開催されましたので、その審議概要についてお知らせいたします。

平成26年度第1回中国運輸局入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成26年10月24日 中国運輸局 会議室	
委員	水中 誠三（水中・三崎法律事務所 弁護士） 木谷 直俊（広島修道大学 教授） 三井 正信（広島大学大学院 教授）	
審議対象期間	前回報告分以降 ～ 平成26年8月31日	
抽出案件	総件数 40 件	(備考)
一般競争	16 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	24 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質 問	回 答
①一般競争入札において、昨年度と同じ事業者が落札している案件が多いが何故か。また、入札参加者を増やす努力はしているのか。	デジタル複合機及びエレベーターの保守契約については、販売業者が保守を行うことが業界の慣習になっているようである。また、ガソリンの単価契約については、中国地方一括の単価契約であるため、対応可能な業者が少ないものと思われる。当局としては、履行が可能と思われる業者には声かけを行い、参加者を増やすよう努力をしている。
②ガソリンの単価契約について、今年度は価格改定を行っているか。	今年度は、ガソリン価格の変動が大きく、4月以降3回の価格改定による変更契約を行っている。
③荷物運送契約の入札において、応札者が1者であるのは何故か。	昨年度の応札者数は2者であったが、今年度は1者のみの応札となっている。当局の荷物輸送については、輸送量も少なく、事業者にとってあまり魅力が無いものと思われる。
④因島海事事務所のPCB廃棄物処理委託契約とは何か。	有害物であるポリ塩化ビフェニル廃棄物を処分する契約のことであり、今回は蛍光灯の安定器等の処理であった。これらについては特別な保管・処分が義務付けされており、当該廃棄物の処分が可能な事業者が官民を問わず契約業者のみであった為、当該業者と随意契約を締結したものの。
⑤VJ事業が台湾とタイに集中しているのは何故か。	タイについては、ビザの緩和がされた為に特に多くなっている。VJ事業については、世界中に広く実施するのではなく、より効果の期待できる地域に特化して実施した方がより効果が上がるものと考えている。
⑥VJ事業の応札者数が1者か2者と少ない契約が多いのは何故か。また、参加条件が厳しいのであれば、条件を緩めることは出来ないのか。	対象となる業種としては、旅行会社、広告会社、メディア関係者の会社等であるが、いずれも海外とコンタクトの取る必要があることから、参加出来る事業者が少ないものとする。また、公示により参加条件を定めているが、より効果を上げるためには、条件を下げるというより、上げて行かなければいけないという状況である。
⑦次回はVJ事業の入札条件などを見せて頂きたい。	了解しました。

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の課程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。

平成26年度 中国運輸局入札監視委員会名簿

(構成:3名)

委員会役職	氏名	職業
委員長	水中 誠三	弁護士
委員	木谷 直俊	広島修道大学商学部教授
委員	三井 正信	広島大学大学院社会科学研究科教授